



後期高齢者医療制度 でこうなります

4月1日から75歳以上の人を強制加入させる後期高齢者医療制度がスタートしました。4月15日支給の年金から保険料が天引きされ、みなさん、びっくりされていませんか？
改めて問題点を見ると―――。



年金から天引き

年金収入額が月1万5千円以上の人は、保険料が年金から天引きされます。国保だった人の多くは、4月15日支給の年金から天引きされます。年金が1万5千円未満の人は、保険料を直接払います。

滞納すると保険証を取り上げる仕組みがつけられました。

なおこれに便乗して、65～74歳で国保に入っている人も保険料が年金から天引きされます。

なおこれに便乗して、65～74歳で国保に入っている人も保険料が年金から天引きされます。

自動的に値上げ

保険料は2年ごとに改定されますが、自動的に値上げする二つの仕掛けがあります。初めは保険料がそれほど高くない地域でも安心できません。

一つは、後期高齢者の医療費が膨らめば、保険料も上がることです。窓口負担を除いた医療費の10%を、後期高齢者の保険料でまかなう仕組みだからです。

もう一つは、人口に占める後期高齢者の割合が増えること、保険料の財源割合も増えます。

いま48歳の人が75歳になる2035年度には、保険料の財源割合が10%から14.6%に増える見込みです。10%で年7万円の保険料が、14.6%だと10万円に増えます。

保険料は

個人単位で請求

これまで、所得の低い人は、子どもなどの健康保険や共済組合の扶養家族になることができ、直接本人が保険料を払うことはありませんでした。

ところが、後期高齢者医療制度は、こうした人も含め、全員が保険料を払います。保険料は一人ひとりに請求されます。

保険料は二つの部分に分かれています。

一つは、所得に応じて払う「所得割」です。年金収入が153万円を超える人などが払います。

もう一つは、全員が払う「均等割」です。金額は都道府県によって違います。所得が低い世帯は、「均等割」を2～7割軽くしますが、所得が「ゼロ」でも払います。

広島県の平均保険料（年額）

均等割	40,467円
所得割	7.14%
一人当たり平均額	66,900円

"やがて死ぬから"と

医療の差別

狙いは？

この制度の狙いは医療費を減らすことにあります。政府は、医療費を15年度に3兆円(うち後期高齢者医療で2兆円)、25年度に8兆円(同5兆円)減らす計画です。削減額の半分以上は後期高齢者医療なのです。

後期高齢者は、

- ① 治療が長引き、複数の病気にかかっている
- ② 認知症の人が多い
- ③ いずれ死を迎える

などと、ひとくくりにして、医療費を減らそうとしています。

終末期も別枠に

4月の診療報酬(医療の値段)改定で、終末期では患者や家族と医療機関がよく話し合い、治療方針を決める仕組みができました。ところが、対象は75歳以上だけです。

なぜ? 厚労省の担当官僚は「後期高齢者の場合は、高額な医療費を使っても亡くなられる事例が多い」と本音を語っています。

葬祭費まで・・・

亡くなったときに保険から支給される葬祭費が、後期高齢者医療制度になると減らされる問題も起きています。

広島県は、後期高齢者医療制度の葬祭費が3万円です。広島市の国保の葬祭費は4万円ですから、74歳までに亡くなれば葬祭費が4万円なのに、75歳を過ぎてから亡くなると3万円に減ってしまいます。

長生きしたら葬祭費が削られるのです。

ご意見をお寄せください

健康診断を制限

これまでの住民基本健診は、40歳以上なら誰でも受けられました。しかし、4月からの特定健診では、75歳以上の健診を実施主体である広域連合の「努力義務」に格下げ。受診対象者も絞り込みます。

舛添厚労相は、国会で「特定健診で予防効果がどこまであるか、それよりも残存能力をいかに維持するか」と答弁しました。健診はお金の無駄と言わんばかりです。

外来治療に上限

外来では、後期高齢者に限って、高血圧、糖尿病など慢性疾患を担当する医師を一人決めます。(患者の同意が必要)

その医師が、ほかの医療機関への受診も管理します。

医療費は月一回6,000円の定額制。(包括払い)で窓口負担は1割の600円。これで、その医師は月一回6,000円の後期高齢者診療料を請求できますが、その中で医学管理、検査、画像診断、処置の費用をまかなうことになります。

政府は、「担当医以外の医師にかかってもいいし、担当医を変えてもいい」といいます。

しかし、政府の狙いが医療費削減にある以上、いったん定額制を持ち込めば、保険のきく医療に上限をつけられる危険があります。手厚い治療を行う医療機関は赤字になってしまいます。



日本共産党は廃止を求めて全力でがんばります。